

不適合情報

2018年7月19日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	非常用ガス処理系(B)ドレン水封用Uシール配管フランジ部から、微量のシール水の滴下および床面への水溜まり(約24リットル、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該フランジ部を点検・修理。	
2	3号機	交流出力無停電電源装置(B)の同期検定器に指示不良を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	
3	4号機	排気筒放射線モニタA(電離箱)の指示が一時的に下降し、下限を示す警報の発生を確認した。当該モニタを点検・修理。なお、他の排気筒放射線モニタは正常に動作。	
4	6号機	放射性核種分析装置(3系)の点検時、コバルトに対する半値幅が判定基準を逸脱していることを確認した。当該装置を点検。	
5	7号機	タービン建屋空気抽出器室でのグラインダー作業時、発生した粉じんを近傍の連続ダスト放射線モニタ吸引口から吸い込み、ろ紙を詰まらせ圧力異常により吸引ポンプの停止を確認した。当該ろ紙の詰まりを解消し復旧済み。	
6	7号機	タービン・発電機関係制御装置に異常を示す警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査。	